

【活動概要】

多面的機能の維持・発揮活動 【コミュニティ部門】

みゆきほぜんかい
三行保全会(河芸町)

多面的な取り組みで次世代へ引継

活動の状況 (認定農用地面積A=46.9ha)

(活動の内容)

当地区は、里山に接した水田で良質な米が生産できる半面、小規模水田が多く、決して効率的耕作が可能とは言い難い農用地環境を抱えている。

「次世代が耕作可能な農用地環境の整備」をテーマとし、平成24年度より多面的に活動を継続している。

活動が定着した本年度からは、より高度な事業である「施設の長寿命化」にも取り組むこととした。

活動を支える組織の役員には、自治会長(相談役)、公務員・農協職員OB、営農組合役員、水利組合役員等を擁し、多面的な見地からより効果的な活動を実施できる体制としている。

具体的活動としては、環境整備事業としての花畑の作成、空缶拾い、草刈を実施し、次世代への食育・農業PRを目指した地域保育園児を対象とした稲作体験、ジャガイモ・サツマイモの植付・収穫体験等の定例的活動に加え、スポット事業として近年問題が発生している獣害対策や耕作環境整備として破損の顕著な農道舗装を重点的に実施している。

保育園児への稲作体験、ジャガイモ・サツマイモの植付・収穫体験



みんな真剣に頑張ってます !!!

耕作環境整備のために農道整備、獣害対策



慣れない作業も自主施工 !!!